

「安倍川総合土砂管理計画フォローアップ委員会」  
「安倍川総合土砂管理計画フォローアップ作業部会」  
設立趣意

安倍川は日本三大崩れの一つである大谷崩に代表される重荒廃地を抱える日本屈指の急流土砂河川で、上流域では土石流による土砂災害、下流域では土砂堆積により河床が上昇し、偏流により高水敷や堤防の一部が流出するなどの被害が発生している。また、「三保松原」に代表される海岸域では、海岸侵食により浜幅が狭くなり、高波浪による越波被害が発生している。

そのため、砂防、河川、海岸の連携のもと各領域の管理・保全施設等を活かして安全性を確保しながら、土砂移動の連続性を考慮し、可能なかぎり自然状態に近い土砂動態によって形成される流砂系を目指すため、総合土砂管理計画としては全国の一級水系で初となる「安倍川総合土砂管理計画」を平成25年7月に策定した。

上記計画は、策定時点での流砂系全体の土砂動態に関する調査データ及び技術的知見に基づいた検討成果により策定したものであるが、土砂移動現象の十分な解明には、至っておらず、今後のモニタリング等観測成果の蓄積と分析、シミュレーションモデルの精度向上を図り、安倍川流砂系で生じている土砂移動に関する現象解明を継続的に進め、PDCA サイクルに基づき、計画の内容を見直し向上を図る必要がある。

そのため本委員会・作業部会は、安倍川流砂系を対象に土砂移動現象に関する知見を深め、流砂系を一貫して、より適切な総合的な土砂管理を実現するための手法について助言をいただき、「安倍川総合土砂管理計画」のさらなる向上を図るために設置するものである。